

10 月 8 日(水)、昨年に引き続き、釧路児童相談所こども支援課の三上課長をお招きし、「児童虐待の対応や対策」をテーマにご講演いただきました。

児童虐待相談件数は年々増加傾向にあり、特に心理的虐待が最も多く、次いで身体的虐待、ネグレクト(育児放棄)、性的虐待の順で報告されています。北海道内では、前年と比較して 862 件の増加が確認されており、深刻な状況が続いています。

講演では、虐待の早期発見のための着眼点として、こどもや保護者から発せられるサイン(言動・態度・表情など)に注目し、違和感を覚えた際には放置せず速やかに連絡することの重要性が強調されました。

また、虐待対応のための連絡先として、全国共通の児童相談所虐待対応ダイヤル「189(いちばやく)」や、子どもが直接相談できる「子どものための相談 LINE」の活用も呼びかけられました。

10 月 21 日(火)臨床研修医向け総合講座として、薬剤部の大月部長による「薬事情勢」に関する講義が行われました。講義では、近年の医薬品流通問題について、医薬品の供給不安定化が深刻化しており、特に地方では流通体制の脆弱さが顕著であることや一社流通品の増加により、患者さんへの影響が懸念されているなど上げられました。さらに、医薬品副作用被害救済制度についても解説がありました。これは、医薬品を適正に使用したにもかかわらず副作用により健康被害を受けた場合に、医療費や障害年金、遺族年金などが給付される公的制度であり、制度の目的や申請方法、給付内容について分かりやすく説明されました。

10 月 31 日(金)、釧路湖陵高校において、1・2 年生の医学部志望者を対象にセミナーが行われました。本校卒業生である植原研修医が講師として、進路選択に向けた自身の体験談をはじめ、地域医療の重要性、医師としてのやりがいや魅力について熱意ある講演をしていただきました。

講演では、医学部進学に至るまでの道のりや、研修医としての日々の業務、釧路地域での医療の現状と課題など、学生にとって具体的かつ実践的な内容が語られ、参加した生徒たちにとって大変有意義な時間となりました。

将来的には、今回参加した学生の中から、釧路の医療を担う人材として戻ってきていただけることを期待しています。

「児童虐待の対応や対策」セミナー

釧路児童相談所こども支援課 三上課長



